

平成 29 年度社会福祉法人静香会事業報告

○ 法人本部

1. 29 年度重点目標に対する取組み

(1) 社会福祉法人制度改革への取組み

①経営組織のガバナンスの強化

法令及び定款に従い理事会、評議員会、監事などの組織を再編し、法人経営と各事業経営のチェック機能、各機関間（理事会、監事、評議員会）の相互牽制機能を持った体制作りを行った。

②事業運営の透明性の向上

法人本部機能を強化し、法人本部が中心となった経営を目指した。
法人経営及び事業経営が良好に進展するよう、管理職会議や経営会議等、管理職による会議を充実させることで事業運営の透明化を図り、執行体制の機能を強化した。

③財政規律の強化

公認会計士により定期的に指導を受け、毎月の収支報告の確認や各事業の経営面に関する問題点について専門的なアドバイスを受けた。
毎月の経営会議において、各施設、事業ごとの経営状況を把握するとともに、法人の財政状況の確認を行った。

④地域の福祉ニーズに対応した取り組みの実践

地域住民に対する福祉教育	2 件
地域他機関とのネットワーク活動	7 件
地域における福祉の推進	3 件
地域の社会的な援護を必要とする方への支援	12 件
その他	3 件
	<hr/>
計	27 件

(2) 人材の育成

①静香会キャリアパス体系の構築を推進する

28・29 年度の 2 年間、社会労務士の指導を受けすべての作業を完了した。このことにより、人事と賃金制度が連動し、本来の目的である「やる気を高める人材育成」や「能力に応じた賃金決定」に結びつくキャリアパス制度が完成し、30 年 4 月より運用することとした。

②体系的な研修プログラムを作成し、部門や役職に応じた研修への参加を促進する。

静香会職員育成教育計画を作成し、外部研修に積極的に参加するとともに、法人内・施設内研修を充実させ、職員の資質向上に努めた。

外部研修・・・126 講座、延べ参加人数 221 名

県健康福祉部、県社協、県福祉協会、
保育士会等の研修への参加

法人内・施設内研修・・・47件

成年後見制度、感染症、介護保険法、虐待、コンプライアンス、AED、保育指針の改定等の研修を職員が講師になり行った。

(3) サービスの質の向上

①IS09001 システム（2015年版）に則り業務をマニュアル化し、日常管理及び改善を行う。

法人・各施設で職員に対する勉強会を開き、ISOがより理解され浸透するよう努めた。

提供するサービスは利用者・保護者等の声を取入れながら、継続的に見直しや改善に取組み、利用者・保護者の満足度を高めた。

②自ら組織内のリスクを想定し、リスク管理（予防策）を強化する。

法人・各施設で、延べ18件実施した。

- ・災害時のための職員自動安否確認メールの活用
- ・災害時のための利用者・保護者・職員への情報伝達メールの活用
- ・インフルエンザ対策
- ・GH利用者夜間無断外出対策のための防犯カメラ設置 等

(4) 働きやすい職場環境づくり

①時間外勤務を削減し、職員が定時に帰ることができる体制を作る。

職員間の協力、残業の事前許可制、自己の労働時間管理等の「静香会残業ルール」を定め、全職員共通理解の下、時間外勤務削減に取り組んだ。

時間外勤務実績時間数（29.4.1～30.3.31）

施設名	職員数 管理職除く	29年度 延時間数	月平均 延時間数	月平均 一人当時間数	主な理由
悠雲寮	29名	103.5	8.63	0.30	宿泊外出付添い 感染症対応
グループホーム	5名	43.0	3.58	0.72	利用者の事故対応 旅行付添い
ゆううん	5名	27.5	2.29	0.46	虐待ケース対応
ほほえみ& みのり工房	18名	7.5	0.63	0.04	
このはな保育園	24名	96.0	8.00	0.33	土曜勤務 8.5時間
本部	2名	0.5	0.04	0.02	外部研修

②有給休暇の取得促進を図る。

全職員、有給休暇を計画的に10日以上取得すること、また、誕生日

休暇、家族休暇、リフレッシュ休暇、旅行休暇、自己研鑽休暇、地域活動休暇等、様々な冠休暇を設定し、年間3種類以上の休暇をとることを目標として取組んだ。

有給休暇取得率

施設名	28年度	29年度
悠雲寮	54%	64%
グループホーム	76%	94%
ゆううん	29%	79%
ほほえみ& みのり工房	54%	83%
このはな保育園	82%	93%
本部	54%	91%

2. 定例事業

(1) 理事会の開催

① 平成29年6月6日(火) 10時 悠雲寮2階会議室

審議事項

- 第1号議案 平成28年度社会福祉法人静香会事業報告
- 第2号議案 平成28年度社会福祉法人静香会決算報告
及び監事監査報告
- 第3号議案 社会福祉法人静香会就業規則等の一部改正
- 第4号議案 定時評議員会の開催

報告事項

- 第1号報告 理事長専決事項の報告
- 第2号報告 理事長職務執行状況の報告
- 第3号報告 社会福祉法人静香会福祉充実計画

② 平成29年6月27日(火) 13時30分 悠雲寮2階会議室

審議事項

- 第1号議案 理事長の選定
- 第2号議案 社会福祉法人静香会定款細則の制定

報告事項

- 第1号報告 社会福祉法人静香会社会福祉充実計画承認の報告

③ 平成29年11月21日(火) 10時 悠雲寮2階会議室

審議事項

- 第1号議案 社会福祉法人静香会経理規程の一部改正
- 第2号議案 社会福祉法人静香会経理規程細則の制定
- 第3号議案 社会福祉法人監事監査規程の制定

第4号議案 社会福祉法人静香会悠雲寮敷地の取得及び
積立金取り崩し

【土地取得のための売買契約について】

所在地：長泉町下長窪字鉄平1122番1、1126番1
(悠雲寮グラウンド)

地積：778平方メートル

単価：82,286円/㎡(推定公示価格)

取得金額：64,000,000円

契約の相手方：尾崎敬治

取得理由：悠雲寮のグラウンドは開設当初より無償で貸与されていた土地であるが、将来的な悠雲寮の立替え等を考慮し、この土地を法人の基本財産とすることが今後の経営の安定に繋がると判断したため。

第5号議案 社会福祉法人静香会収支予算書第1次補正

第6号議案 平成29年度指導監査結果に係る是正・改善計画

報告事項

第1号報告 理事長専決事項報告

第2号報告 理事長職務執行状況の報告

④ 平成30年1月29日(火)10時 悠雲寮2階会議室

報告事項

第1号報告 社会福祉法人静香会悠雲寮敷地売買契約の締結

第2号報告 社会福祉法人静香会定款変更

審議事項

第1号議案 評議員会招集

⑤ 平成30年3月27日(火)10時 悠雲寮2階会議室

審議事項

第1号議案 平成29年度社会福祉法人静香会各会計補正予算

第2号議案 平成30年度社会福祉法人静香会事業計画

第3号議案 平成30年度社会福祉法人静香会各会計収支予算

第4号議案 社会福祉法人静香会規程類の一部改正

第5号議案 社会福祉法人静香会利用者等苦情対応要領に基づく
第三者委員の選任

(2) 評議員会の開催

① 平成29年6月27日(火)10時 悠雲寮2階会議室

審議事項

第1号議案 平成28年度社会福祉法人静香会事業報告

第2号議案 平成28年度社会福祉法人静香会決算報告
及び監事監査報告

第3号議案 社会福祉法人静香会福祉充実計画

第4号議案 理事・監事の選任

第5号議案 社会福祉法人静香会役員等報酬規程の制定

- ② 平成 29 年 6 月 27 日（火）10 時 悠雲寮 2 階会議室
報告事項
第 1 号報告 社会福祉法人静香会悠雲寮敷地の取得
審議事項
第 1 号議案 社会福祉法人静香会定款変更

(3) 監事監査

- ① 中間会計監査
平成 29 年 11 月 21 日（火）悠雲寮応接室
森本監事・杉山監事
- ② 平成 29 年度事業及び収支決算監査
平成 30 年 5 月 23 日（水）悠雲寮応接室
森本監事・杉山監事

(4) 苦情対応第三者委員会

平成 29 年 6/27、30 年 3/27 計 2 回
悠雲寮応接室

(5) 県による実地指導監査

平成 29 年 10 月 27 日
このはな保育園

(6) ISO 9 0 0 1

- ① 内部監査
悠雲寮・・・平成 29 年 6/29、9/22、9/26、10/16、
10/19、11/13、11/22、
平成 30 年 1/19、2/27、3/7 計 10 回
ほほえみ&みのり工房・・・平成 29 年 9/21、30 年 3/16 計 2 回
このはな保育園・・・平成 30 年 3/9 計 1 回

② 外部監査

平成 29 年 7 月 11・12 日（定期監査）
平成 29 年 11 月 30 日・12 月 1 日（更新監査）
9 時～17 時 悠雲寮 2 階会議室・このはな事務所
監査機関：ビジネス・アシュアランス・ジャパン(株) 塩谷健吾監査員

(7) 職員の健康管理

- ① インフルエンザ予防接種を全職員に実施した。（11 月、12 月）
② ストレスチェック制度を整備し、全職員にストレスチェックを実施した。（10 月）
③ 定期健康診断を実施した。（夜勤のある職員は年 2 回、その他職員は年 1 回）

【定期健康診断検査結果】

総合判定	区分	29年度	28年度	内 容
A	異常なし	5	4	
B	軽度異常 問題ナシ	17	18	
C	要経過観察	32	29	体重（肥満・痩せ過ぎ）腰椎変形 食事（尿酸値・高脂血症・肝機能）
D	要治療 要精密検査	21	21	脂質異常・高血圧・尿潜血・便潜血・腰 貧血・視力低下・心電図・胃（要内視鏡）
E	治療中	9	5	高血圧・糖尿病・高脂血症
計		84名	77名	

(8) 法人会議

- ① 全体職員会議 4/5、7/4、10/4、1/10 計4回
- ② 管理職会議 4/18、5/25、6/22、7/25、8/29、9/20、
10/24、11/21、12/21、1/23、2/21、3/20 計12回
- ③ 経営会議 4/25、6/29、7/28、9/26、10/31、12/7
1/30、3/5 計8回
- ④ 人事評価委員会 9/20、2/21 計2回

(9) 広報誌「悠雲」

4月、7月、10月、1月 計4回、毎回850部発行
30年1月号より、HPに掲載した。

(10) ホームページ・ブログ等の更新

- ①ホームページ・・・4/1、7/1、10/1、1/1 計4回更新
更新内容：理事長挨拶、事業報告・決算報告等情報公開
苦情対応・報告、広報誌「悠雲」、フェイスブックへのリンク
商品案内等
- ②ブログ・・・悠雲寮 毎日更新
ほほえみ&みのり工房 週2回更新
このはな保育園 月2～3回更新
- ③フェイスブック・・・1月より試行で実施した。

(11) 静香会行事

- ①桜を楽しむ会 平成29年4月5日（水）
- ②かき氷大会 平成29年7月19日（水）
- ③秋のお楽しみ会（各施設で実施した）

ほほえみ&みのり工房	平成 29 年 10 月 4 日
悠雲寮	平成 29 年 10 月 10 日
このはな保育園	平成 29 年 10 月 11 日

3. 職員の採用及び退職 (平成 29. 4. 1～平成 30. 3. 31)

施設名	採用		退職	
	正規	パート	正規	パート
悠雲寮	2	5	4	2
ゆううん	0	0	0	0
悠雲の家 アネックス悠雲の家	0	1	0	1
ほほえみ&みのり工房	0	0	1	2
このはな保育園	2	3	3	1
法人本部	0	0	0	0
合計	4	9	8	6
	13		14	

職員人数

施設名	29年4月1日	30年4月1日
悠雲寮	30	31
ゆううん	5	4
悠雲の家・アネックス悠雲の家	2	2
ほほえみ&みのり工房	18	15
このはな保育園	26	23
法人本部	5	5
合計	86名	80名

○悠雲寮（障害者支援施設）

1. 目標に対する取り組み・・・目標：（1）（2）（3）（4）

（1）サービスの質の向上

①年度当初は年齢・障害に応じた体力作りとして、入所・通所合同で行い歩行訓練、ゲーム、マッサージ師による機能訓練などを実施しました。町道の工事に伴いグラウンドの使用ができない7月～3月にかけては、入所・通所を分け週案にそって活動を実施し体力の維持に努めた。

②週案

	月	火	水	木	金	土	日
A M	グループ 活動 体力づくり	グループ 活動 体力づくり	グループ 活動 体力づくり	レク (外出含)	グループ 活動 体力づくり	【生活介護日】 AM：各棟 ※通所は半日 PM：余暇支援 【施設入所日】 ・男性清拭 ・女性入浴 ・余暇支援	施設入所 (入浴日)
P M	・各棟活動 ・男性入浴 ・女性清拭	・各棟活動 ・男性清拭 ・女性入浴	・各棟活動 ・男性入浴 ・女性清拭	レク(外出、 誕生会、喫茶含) ・男性清拭 ・女性入浴	・各棟活動 ・男性入浴 ・女性清拭		

③ 各利用者の満足度を把握し、利用者支援に反映させる。

・ 外出支援

利用者の希望により外出先を決定し、年間を通して外出の機会を設けた。

地域で行なわれるイベントにも出かけ、地域とのつながりを大切にした。

保護者との旅行は例年秋に行っていたが、工事の関係で保護者の駐車場の確保ができない事を考慮し5月に箱根方面に行き、多くの保護者が参加した。

・利用者による自治会活動の実施（外出希望、食事関係、利用者関係など利用者間で話し合った）。

・利用者満足度アンケートを実施。30年度の外出、生活、誕生日献立、喫茶などに反映させた。

・個別支援計画の作成・・・年3回作成。

・保護者への定期連絡を継続実施。

保護者の高齢化により帰省期間や帰省の機会が減り、また、寮に来られる機会も減った為、日常生活や健康状態を保護者に伝えた。

（2）人材育成

・マニュアル、手順書を現場で使用できるようにわかり易くした。まだ一部の手順書の見直しが終わらないため、30年度に継続的に行っていく。

・研修・・・個々の研修計画書により、必要な学びや求める成果を明確にし、現場へのフィードバックについて聞きながら、ただ単に研修に行ったということにならない様にした。

・内部研修の充実・・・職員に伝えること知ってほしいことなどを丁寧に説明する

機会を設けた。

- ・他施設への見学は実施できなかったため、30年度への継続となった。

(3) 地域の福祉ニーズへの対応

- ・可能な限り実習生や体験利用者は受け入れた。

(4) 安定した経営をめざす

- ・感染症対策は万全に行っていたが、外部からの感染により1月終わりから2月初めに12名の発症者があり、通所を閉所とした。
- ・法人の方針でもある効率的な業務を心掛けたことにより、時間外が少なく定時での勤務終了の習慣がついた。
- ・利用者は定員60名に対し日々平均67名程度。

2. 目標に対する具体的事業内容

(1) 利用について

- ① 生活介護サービスとして基本9:00~15:00開所。
- ② 障害支援区分3以上(50歳以上は2以上)

(2) 利用の状況

① 定員60名。

現在男性30名、女性21名、通所20名、合計71名(H30年3月末日)
契約終了(通所)・・・8月男性1名(他高齢者事業所へ移行)

② 年齢

	全体	男性棟	女性棟	通所
平均年齢	45.7	46.1	51.5	39.1
最高年齢	72	65	72	69
最低年齢	20	20	28	23

③ 障害支援区分

障害支援区分(平成29年3月末)

区分	3		4		5		6		計	
年・月	29.4	30.3	29.4	30.3	29.4	30.3	29.4	30.3	29.4	30.3
男性	0	0	0	0	4	3	26	27	30	30
女性	0	0	4	3	8	8	9	10	21	21
通所	2	0	3	3	1	2	15	15	21	20
計	2	0	7	6	13	13	50	52	72	71

※平均5.65 (男性:5.9 女性:5.33 通所:5.6)

(3) 支援について

①個別支援

利用者や家族の要望等を取り入れながら個別支援計画を作成し、個々に具体的な対応を図り4ヶ月に1度の見直しを実施。

②外出を含む年間行事

行事	実施日	会場	備考
南一色区民祭	10月1日	宮脇公園	南一色運動会 利用者20名参加
長泉町四ツ溝柿 ロードレース	11月12日	旧長泉高校周辺	利用者8名参加
わかふじスポーツ大会	8月27日	草薙グラウンド	フライングディスク・15名
MYコミュニケーションズ チャリティー餅つき大会	11月14日	オートバックス 三島店	利用者21名
日産労連 クリスマスチャリティー	11月24日	御殿場市民会館	利用者27名
AUTUMN FESTA	10月10日	悠雲寮食堂	利用者70名 福尾野歩さんを招いた。
日帰り旅行	5月26日	箱根方面	保護者37名・利用者56名
希望外出(希望宿泊)	年33回	利用者年3回	入所利用者対象で宿泊外出を実施 (TDL 横浜 東京 温泉) 通所利用者対象で遠足を実施 (御殿場樹空の森 富士花鳥園 パノラ マパーク)
イベント外出		地域のお祭りなど	

3. 地域交流

- ・長泉町総合防災訓練→9/3 南一色区の訓練に参加(利用者4名、職員1名)
- ・地域のお祭り等にイベント外出として小グループで参加している。

(1) 体験学習・奉仕作業等の受け入れ

学校名	受入日	備考
不二聖心女子学院	6/30 12/14	16名(2回)

(2) 福祉系高校、専門学校、短大、大学等実習生等受け入れ

学校名	期間	回数	実人数	延べ人数	備考
知徳高校	6月~11月	5	18	94	通い
浜松学院大	7月	2	4	48	宿泊
東海短大	11月	1	3	33	宿泊(介護等体験含む)
県立短期大学	9月	1	2	24	宿泊
小田原短大	8月	1	2	22	宿泊

新規採用教職員研修	1 2月	1	7	7	長泉町教職員
計		1 1	3 6	2 2 8	

(3) ボランティア

業務内容	年間回数	延べ人数	備考
音楽指導	9	1 4	岩本様 座古谷様
理容	1 3	5 2	沼津市内理容師有志
美容	6	1 6	ヘアーカット カズオ
楽しい仲間5サークル	1	5	桜を楽しむ会 (法人行事)
計	2 9	8 7	

4. 防災・防犯関係

7/20 不審者対応訓練 (ぶなの森)

8/23 防災危機管理研修

9/4・5 DCAT 登録研修

5. 健康管理

- ・月1回の体重測定
- ・口腔衛生・・・歯科医師による検診
職員によるカラーテスター利用確認
- ・毎日の検温の実施
- ・日々の健康観察
- ・健診、治療対象者の定期的な血液検査
- ・感染症予防・・・インフルエンザ予防接種・自治会での注意伝達

6. 給食管理

(1) 行事食

- ①毎月1回 誕生日献立 喫茶
- ②4月 悠雲寮29周年祝献立
- 5月 子供の日祝献立 運動会弁当
- 7月 七夕バイキング・流しそうめん
- 12月 クリスマスバイキング (ケーキ作り)
年越しそば
- 1月 おせち料理 (1/1) 七草粥 鏡開き
- 2月 節分 豆まき・恵方巻き
- 3月 ひな祭り弁当

(2) 栄養面

①給与栄養目標量

区分	エネルギー Kcal	タンパク質 g	脂質 %	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミン				塩 g
						A ug	B1 mg	B6 mg	C mg	
目標値	1,650	63.0	20~25	700	11.0	700	1.10	1.10	100	7.5
実績	1676	68.4	24	641	9.1	865	1.08	1.39	154	8.5

日々の献立作成を上記の給与栄養目標量を参考に作成

(3) 特別食

①利用者の身体状況に応じ、超きざみ食、きざみ食、一口食、減塩食、油抜き食など特別食の提供。→年に一度の全体見直し。

(2名糖尿病予防でご飯量を減らす。)

体調に合わせてその都度対応。また、体調不良者への粥食の提供

(4) 衛生面

①利用者の衛生管理

・食事前の手洗い・消毒の強化。

泡の出る石鹸での手洗い、手洗い後のエアータオル、手洗い後の消毒の励行

・配膳時のエプロン・帽子・マスクの着用

②厨房内衛生管理

・週1~2回の床清掃

・調理台・炊飯器・配膳台など、係り分担を決めての清掃（チェック表使用）

・厨房職員全員の月2回の検便検査（冬は1回）

・調理従事者の調理前の体温・体調チェック

・年2回の業者による厨房内消毒と月1回の害虫除去点検

・年2回の業者によるグリストラップ清掃

・食器及び調理器具類の消毒・殺菌

・冷蔵庫・冷凍庫の温度確認

・食材納品時の賞味期限・納品温度の確認

・調理時の中心温度の確認

6. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
車両関係	306,302	点検・車検・バッテリー交換ほか
食堂関係工事	1,221,480	食堂 床貼替・カーテン入替え
居室等工事	2,103,732	男性棟・女性棟 カーテン入替えほか
電気工事	186,840	柱上開閉器接地抵抗改修工事
その他の工事	3,865,603	さくら棟 外壁・屋根改修工事ほか
計	7,683,957	

(2) 物品購入

固定資産

① 厨房内エアコン 2台 826,200円

備品

① テーブル 16台 997,165円
 ② 体温計 1台 17,280円
 ③ 3人掛けソファー 1脚 37,692円
 ④ 置き畳 18枚 59,400円
 ⑤ 換気扇 1台 43,200円
 ⑥ 手押車 1台 45,360円
 ⑦ チェア 20脚 204,768円
 ⑧ 両開き書庫 2台 159,948円
 ⑨ ドライブレコーダー 3台 117,000円
 ⑩ デジタルカメラ 1台 28,953円
 ⑪ テレビ(さくら棟) 1台 39,960円

○悠雲寮（短期入所事業・日中一時支援事業）

1. 利用について

- (1) 在宅の障害者を介護する保護者や家族の疾病等により短期間施設を利用することが適当と認められる方を受け入れ適切な支援を提供した。
- (2) 日中一時支援事業は、市町より利用可能の認定を受けている方が宿泊を伴わないで利用（長泉町、三島市、裾野市と契約）。

※2名の利用者は在宅生活が困難な為、施設入所の空きを待ちながらの長期利用を継続中。

- (3) 短期入所事業（宿泊・日中一時）は出来る限り家庭の要望に沿った受け入れを実施。毎回利用後に利用中の様子を記載した“引渡し書”を記載し渡している。

2. 利用状況

平成29年度短期入所受け入れ状況（宿泊）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人員	11	11	14	17	9	14	13	16	13	11	12	14	155
延人数	133	130	168	153	103	127	131	152	135	125	126	153	1636
前年度延人数	169	154	179	188	178	159	172	134	123	146	127	138	1867

平成29年度日中一時支援受け入れ状況（日帰り）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人員	7	6	7	7	4	6	8	8	5	5	6	5	74
延人数	55	42	46	49	43	50	53	64	44	32	37	47	562
前年度延人数	72	33	50	57	53	55	54	57	45	58	54	45	633

前年度に比べて、延べ人数が減少した理由

- ① 利用者の重度化により、1日に受入できる人数が減った。傾向としては入所待ちでの利用希望が多くなった。
- ② 1月末から2月初めに、悠雲寮内でのインフルエンザによる感染症が発生したため、利用をお断りした。

○悠雲の家およびアネックス悠雲の家（共同生活援助事業）

1. 目標に対する取り組み

(1) サービスの質の向上

- ① 利用者との面談を通して、年3回個別支援計画を作成し実行。
- ② 年間行事、旅行などの実施・・・3. で報告

(2) 人材育成

世話人

所属		
悠雲の家	1名	基本 11:15~20:00
アネックス	1名	基本 6:00~12:00

悠雲寮（バックアップ施設）

所属	
悠雲の家	サービス管理責任者 1名
アネックス	バックアップ職員 1名

業務日誌などを通じて、世話人とバックアップ職員との情報の共有を継続。

(3) 地域への福祉ニーズへの対応

ゆううん（相談支援事業）と情報を共有し、地域で生活する方の受入等の検討はしたが、具体的な体験利用までは至らなかった。

(4) 安定した経営をめざす

定員12名に対し10名でスタートしたが、5月に1名死亡の為その後は9名を継続。

夜間世話人がいないこともあり、(3)でも記述したとおり新規の入居はなし。

2. 利用者の状況（平成30年3月末）

氏名	年齢	程度	勤務先	給料	年金月額	出身地	
悠雲の家（女）	A	69	中度	セキトランス	40,000	65,000	長泉町
	B	34	軽度	モガワ	100,000	65,000	三島市
	C	37	軽度	いずみの郷	40,000	65,000	熱海市
	D	71	軽度	H&M	15,000	65,000	長泉町
	E	33	軽度	さつき園	100,000	65,000	熱海市

平均年齢 48.8歳

氏名	年齢	程度	勤務先	給料	年金月額	出身地	
ア ネ ッ ク ス 悠 雲	G	74	中度	H&M	15,000	65,000	長泉町
	H	46	軽度	セミナー	66,000	65,000	長泉町
	I	52	精神	東レ	70,000	65,000	裾野市
	K	48	軽度	リースサンキュー	70,000	65,000	清水町

平均年齢 55 歳

※H&M・・・ほほえみ&みのり工房

◎29年5月男性利用者1名死亡

3. 年間行事等

- (1) 旅行・・・一泊旅行（11月：金沢方面）利用者9名・職員2名
- (2) 食事会・・・バーベキュー（8月） 新年会（1月）お疲れ様会（2月）
- (3) ふれあい交歓会（11月）静岡県知的障害者福祉協会主催（5名参加）
 ※費用については利用者負担とした。
 ※年度末に満足度アンケートを実施。30年度の行事等の検討をした。

4. 健康管理

- ・町の検診→対象年齢に達し、本人の希望により受診とした。
1名の方の大腸がんが見つかり、がんセンターにて内視鏡による手術を受けた。次回1年後の通院予定。
- ・日常の通院・個人的な外出等に関しては、基本的には各自で行なった。
必要に応じて、有料にて通院付添サービスを利用した方もいた。

5. 防災、防犯

- ・防災訓練→火災想定（12月）、地震想定（2月）実施。
- ・長泉町総合防災訓練→南一色区訓練（8月）に利用者3名参加。
- ・防犯カメラの設置・・・夜間においても利用者が安全安心に過ごせるよう、玄関前の通路が録画されるようカメラを設置。
また、ホームセキュリティーによる見守りも継続。

6. 地域移行への支援

- ・一人暮らしを希望している利用者に対して、相談支援事業所と連携を取りながら対応、助言した。
- ・余暇支援「ハッピーのわ」への積極的な参加の呼びかけを行った。
- ・利用者全員に対して小遣い管理、調理、整理整頓、掃除、洗濯等日常生活全般についての支援を継続。

7. その他の支援

・家族との連絡調整

家庭の事情により帰省や連絡のとりにくい家庭が多いが、出来る限り連絡をとりGHでの様子を伝えた。

・GH会議を年6回行い、利用者支援、世話人の業務について話し合った。 (出席者：管理者、サービス管理責任者、世話人、バックアップ職員、必要に応じて他の職員)

・利用者の職場の担当者と情報共有するため、定期的に職場訪問を実施。

8. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
308号室エアコン2台移動工事	151,200	301号、306号室へ移動
306号室各所水栓交換工事	131,976	306号室
302号室エアコン漏水修理	47,520	302号室
302号室台所水栓交換工事	45,144	302号室
306号室配線器具修繕	35,748	306号室
その他の修繕	15,012	
計	426,600	

(2) 物品購入

固定資産

監視カメラ・増設カメラ	一式	135,000円
302号室食堂エアコン取付	1台	199,800円
302号室個室エアコン取付	1台	199,800円

○ゆううん（相談支援事業所）

1、目標に対する取り組み

（1）サービスの質の向上

- ①行政から相談依頼があった場合には、可能な限り相談者の特性・ニーズを確認し、ゆううん内で適任者を検討。対象者に適した相談員を配置する事で相談者が安心して相談できる環境設定に努めた。また、相談員全員がケースを共有する為に、毎月の相談会議にて動きのあるケース紹介を実施。
- ②29年度は長泉町障がい者自立支援協議会 事業所部会・子育て支援部会に参加し、町内の福祉サービス事業所との顔繋ぎが出来た事で、対象者に提案できる福祉サービスの範囲が広がった。

（2）人材育成

- ①相談員の力量を高める為、外部の研修会に参加。毎月の相談会議にて研修内容を報告し、相談員全体で共有した。

<研修参加実績>

- ・障害支援区分認定調査員研修
- ・精神保健福祉関連研修（5件）
- ・障害者虐待・権利擁護研修
- ・駿東・田方圏域自立支援協議会関連研修（3件）
- ・県主催相談支援関連研修（2件）
- ・ファシリテーター養成研修
- ・成年後見制度活用講座

- ②29年度は障害福祉サービスから介護保険サービスに切り替わった方が1名、障害・介護両方のサービスを同時利用になった方が2名。介護と障害のスムーズな連携の為に、法人内で介護保険講座を開催。

講師：JCHO（ジェイコー）三島老健ケアマネ 岩田氏

（3）地域の福祉ニーズへの対応

- ①福祉サービス受給者に指定されている期間を把握し、モニタリング・計画見直しを実施。サービス提供事業者と本人（家族）に聞き取りを行い、対象者のその時の状況にあったサービスの提案等を実施。また、サービス提供事業者と連携を図り、必要に応じて、指定された期間以外でもケース検討・見直しを実施した。
- ②毎月長泉町内相談連絡会に参加し、困難事例の報告・検討会に参加。各相談事業所で抱えている困難ケースの共有、意見交換を実施。
- ③29年度は、緊急対応として11名の対象者の関係で動いている。内容としては虐待対応、家族の急死の為に生活支援、一人暮らしの方の安否確認、行方不明になった方の捜索活動等。主に休日や夜間の福祉サービスが行き届かない時間の対応となるので、正規職員3名が緊急用の携帯電話を交代で持ち帰り、対応に当たった。

(4) 安定した経営を目指す

①平成31年までに長泉町内計画相談作成率100%達成の為、相談員5名体制にした。

4月には長泉町と新規計画相談の打ち合わせで決まった年間予定49件に対し実績は75件。相談員5名体制にした事もあり、予定以上の件数をこなす事ができた。30年3月末現在達成率78%

②相談事業の業務手順の見直しを実施。手順や役割分担を明確にする事によって業務の簡略化・効率化を図った。また、ゆううんで受け持っているケースの共有を図るために、毎月の相談会議と2月からは毎週ケース検討会を実施。相談員全員でケースが共有できた事によって、担当者不在でもある程度の対応ができ、効率化につながっている。

2、実績

(1) 相談件数 ※児童含む

	H28年度	H29年度
長泉町内 述べ件数	5407	5854
長泉町内 実人数	181	223

(上記の他、悠雲寮利用者について対応)

(2) 主な相談内容

※1件の相談に様々な相談内容が含まれているため昨年件数は参考まで。

	支援内容	H28年度	H29年度
①	福祉サービスの利用等に関する支援	3736	5931
②	障害や症状の理解に関する支援	484	3004
③	健康・医療に関する支援	1573	1339
④	不安の解消・情緒安定に関する支援	1483	1354
⑤	保育・教育に関する支援	233	308
⑥	家族関係・人間関係に関する支援	703	1077
⑦	家計・経済に関する支援	628	445
⑧	生活技術に関する支援	1166	1547
⑨	就労に関する支援	1162	1220
⑩	社会参加・余暇活動に関する支援	460	481
⑪	権利擁護に関する支援	89	111
⑫	その他	1249	535

(3) 計画相談・地域移行、定着支援、区分調査実施件数

H28年度 新規計画相談開始人数…45人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回相談	18	7	22	11	5	5	8	5	3	14	13	13	124
継続相談	12	8	24	16	8	25	14	18	20	14	9	34	202
地域定着	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	9
地域移行	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0	16
区分調査	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	3	5	13

H29年度 新規計画相談開始人数…75人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回相談	24	14	20	39	19	12	11	13	17	7	20	13	209
継続相談	8	19	29	15	12	25	22	17	24	22	16	57	266
地域定着	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分調査	2	5	6	6	2	4	2	4	8	3	4	0	46

※地域定着：継続2名

※地域移行：H29年度利用なし

※区分調査：新規計画相談開始者が増えた分調査も増えている

3. 余暇支援事業（ハッピーのわ） ※12回開催

日付	時間	場所	参加	内容
4月8日(土)	9:30~11:00	長泉町福祉会館	11	オリエンテーション
4月23日(日)	10:00~13:15	裾野市岩波	18	さわやかウォーキング
5月13日(土)	10:15~11:00	柿田川 パークレーンズ	10	ボウリング
5月28日(日)	9:00~11:30	ラジオシティ 沼津北口店	14	カラオケ
6月25日(日)	9:00~11:00	ウェルピア長泉	10	卓球
8月27日(日)	11:00~14:30	大迫施設長宅	11	BBQ
9月9日(土)	17:20~19:45	パスタマン	10	納涼会
11月26日(日)	9:00~13:30	南部地区センター	9	蕎麦打ち
12月16日(日)	10:00~12:00	富士 パークレーンズ	14	クリスマス会

1月6日(土)	9:30~11:30	福社会館	9	次年度を考える会
2月25日(日)	9:00~11:30	大富農園	13	いちご狩り
3月18日(日)	9:00~12:00	ウェルピア長泉	13	鍋パーティ

※地域に住んでいる障がい者を対象に余暇支援事業を実施。5年目となる。

事前に年間予定を提示し、5名以上集まったもののみ開催した。

H28年度 16回開催 205名 → H29年度 12回開催 142名

4. 長泉町障がい者自立支援協議会事務局業務

各種会議の開催、全般的な庶務及び連絡調整を行い、円滑な協議会運営をサポートする為、以下内容を実施。

- ①長泉町内において開催された個別支援会議（相談連絡会）の中から報告される、地域課題の集約及び各種資料の作成
- ②全体会及び運営会議の開催に関する連絡調整及び各種資料の作成
- ③専門部会の運営及び活動をサポートする業務
- ④研修会、講演会等の開催に関する業務
- ⑤協議会における年度ごとの活動報告書の作成
- ⑥その他協議会の円滑な運営をサポートする業務（事務費取りまとめ含む）

5. 施設整備の補修及び器具备品購入等

(1) 維持補修

補修箇所	支出費	備考
ブラインド修理	15,120	相談職員室 1階

(2) 物品購入 なし

1. 部門目標に対する取り組み

(1) サービスの質の向上

①通所

- ・毎月 1 回、家庭や保護者に定期連絡を実施し、連携を図った。
- ・休みがちな利用者に対し、電話で悩みなどの相談や家庭訪問を実施し通所できるように促した。
- ・必要に応じ、相談事業所ゆううんや各市町と連携をとり、問題解決に当たった。

②作業

- ・利用者 1 人ひとりの体調を考慮し、決まった作業だけでなく、新しい作業への挑戦を常に試みた。
- ・1 日の作業目標を利用者に伝え、個々にあった声かけを実施し、作業工程を工夫し 利用者の持っている力を引き出せるよう作業を提供することで作業意欲が高まり、働く姿勢を身につけた。

③生活

- ・職員と利用者とはぐっくりに話合いができる時間を設け、利用者の悩みや体調の変化に気づき早めに対応した。
- ・家庭・病院・各市町・嘱託医と連携を図り、きめ細かい支援を行った。
- ・常に精神科の嘱託医に相談し、緊急時に対応することができた。

④マネジメントカメラの活用

- ・常にマネジメントカメラを利用し、利用者の安全を確保した。
- ・利用者の転倒や、トラブル時には再生し、原因を知り保護者へ情報を提供することができた。

⑤売り上げについて

【作業別売り上げ金額】

作業名	28 年度			29 年度			
	売り上げ金額	材料費	収益	売り上げ金額	材料費	収益	
施設内 訓練	パン	6,219,085	2,844,150	3,374,935	6,846,330	3,074,107	3,772,223
	焼菓子	7,777,500	2,688,571	5,088,929	7,795,286	2,636,431	5,158,855
	農業(園芸)	1,658,275	444,271	1,214,004	1,696,120	359,656	1,336,464
	下請け	2,353,979	0	2,353,979	2,340,987	0	2,340,987
	縫製	397,900	221,509	176,391	272,650	161,340	111,310
	ランチ	3,725,400	2,901,618	823,782	3,793,850	2,835,428	958,422
	その他	125,400	110,933	14,467	194,834	77,741	117,093
	合計	22,257,539	9,211,052	13,046,487	22,940,057	9,144,703	13,795,354
施設外 訓練	自転車解体	190,752	0	190,752	203,952	0	203,952
	木屑処理	1,954,800	0	1,954,800	1,789,650	0	1,789,650
	清掃作業	2,052,870	346,798	1,706,072	1,947,689	281,432	1,666,257
	セキトランス	1,741,675	0	1,741,675	1,261,995	0	1,261,995
	合計	5,940,097	346,798	5,593,299	5,203,286	281,432	4,921,854
総合計	28,197,636	9,557,850	18,639,786	28,143,343	9,426,135	18,717,208	

⑥工賃について

【1ヶ月の平均工賃】

	就労移行支援	就労継続B型
平成25年度	26,987円	28,245円
平成26年度	26,164円	27,301円
平成27年度	28,478円	29,900円
平成28年度	28,967円	26,881円
平成29年度	24,683円	25,695円

【最高工賃・最低工賃】

(2) の育 ① 内研 実施	就労移行支援		就労継続B型	
	最高額(円)	最低額(円)	最高額(円)	最低額(円)
平成25年度	47,070	280	52,220	800
平成26年度	31,125	700	54,680	700
平成27年度	36,955	800	46,080	400
平成28年度	42,000	630	48,330	300
平成29年度	41,130	450	52,668	420

人材
成
施
設
の
修
の

月	研修名	講師
4	28年度について(事業計画・手順書確認) 緊急時の対応(火災・地震時) 防災用品の確認研修 AEDの使用方法	施設長 支援員 支援員 業者
5	マナーについて ISO研修	支援課長 業者
6	コンプライアンス 精神障害者のかかわり 衛生・栄養研修	支援員 支援員 支援員
7	虐待・身体拘束(利用者支援) 言葉使いについて	施設長 施設長
8	障害の特性について	支援員
9	感染症(インフルエンザ対策)	施設長
10	マニュアルの見直し セカンドライフセミナー	施設長 労務士
11	社内の手順について 精神障害の方の支援方法	施設長 支援員
12	防災について	支援員
1	成年後見制度について 介護保険制度について	悠雲寮施設長 外部専門家
3	30年度の障害者総合福祉法と事業所の方向性	施設長

②外部への研修へ積極的な参加

・25の研修に延べ29名の職員が参加しました。

(3) 地域福祉ニーズへの対応

①地域の福祉ニーズへの取り組み

- ・長泉町北中学校より企業研修、長泉町社会福祉協議会から福祉の職場体験の受け入れを実施し、福祉教育を行った。
- ・地域で働く障害者が継続的に仕事が続けられるように、企業の方と、障害者の方への支援を行った。
- ・長泉町障害者自立支援協議会就労部会に参加し、地域の福祉ニーズを引き出す活動を実施した。(2カ月に1回)

②地域交流（地域のお祭りや行事に積極的に出店）

月	行事名	回
4	民生販売 モクオハナ シニアクラブ (2回) さくらフェスタ サクラサクまつり 裾野社協(4回)マ・メゾン花水木販売(4回)	14
5	民生販売 モクオハナ シニアクラブ 仲良し会 グランドゴルフ大会 ヤンセンファーマ 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	14
6	民生販売 モクオハナ シニアクラブ 仲良し会 さつき園まつり 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	13
7	民生販売 モクオハナ シニアクラブ 南一色まつり 納米里まつり 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	13
8	民生販売 モクオハナ シニアクラブ 駿河平区まつり 池田区まつり 裾野社協(3回) マ・メゾン花水木販売(3回)	11
9	民生販売 モクオハナ シニアクラブ ウォーキング ながいずみホーム祭 いずみの街コンサート 城山まつり 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	15
10	民生販売 モクオハナ さつき園文化祭 仲良し会 富士山ウォーキング (2回) 福祉健康まつり 子育てフェスティバル シニアクラブ 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	17
11	民生販売 モクオハナ 下長窪文化祭 北こども園販売 ウォーキング販売 シニアクラブ 仲良し会 産業祭 裾野社協(3回) マ・メゾン花水木販売(3回)	14
12	民生販売 モクオハナ このはな発表会 カームライフ販売 ウォーキング販売 シニアクラブ 障がい者週間販売 障がい者週間映画鑑賞会 あそか保育園販売 裾野社協(3回) マ・メゾン花水木販売(3回)	15
1	民生販売 モクオハナ ウォーキング販売 シニアクラブ シルバー文化祭 仲良し会 裾野社協(2回)	8
2	シニアクラブ ヤンセンファーマ モクオハナ ウォーキング 民生販売 仲良し会販売 裾野社協販売(3回) マ・メゾン花水木販売(3回)	12
3	なごみフェス モクオハナ ウォーキング 民生販売 仲良し会 裾野社協販売(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	13

③ボランティア関係

所 属 等	年間回数等	延べ人数	内容
地域の方々	88	88	作業の手伝い
ママズ	44	76	作業の手伝い 行事の手伝い
楽しい仲間ファイブサークル	1	6	ゲーム指導

(4) 安定した経営

①利用者の通所率アップを図る

- ・日々のコミュニケーション、家庭との連携を大切に、普段との違いに早めに気付けるよう意識した。
- ・利用者の様子によっては家庭に訪問、または電話を入れて様子を聞くといった対応をとった。
- ・手洗いや手指消毒等の予防対策を実行し、利用者本人・各家庭に協力を呼びかけ職員も率先して実行。同時に施設環境を整えるため、換気や消毒などを頻繁に行った。
- ・インフルエンザ・ノロウイルス等については、世間や地域の流行状況に目を向け、どのような情報も施設全体で把握できるよう朝礼や終礼、会議等で情報を伝えた。
- ・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染者数は以下の通り。
 - <利用者> 本人→15名・同居者→4件
 - <職員> 本人→1名・同居者→3件

・29年度内訳

	定員	登録者	出身地			通所 人数/日	延べ 利用者数
			長泉町	裾野市	その他		
就労移行支援	10名	10名	8	0	御殿場市1 函南町1	6.2名/日	1,638
就労継続支援B	30名	49名	40	7	清水町2	35.2名/日	9,374

・前年度比較

	就労移行支援			就労継続支援事業B型		
	定員	登録者	延べ利用者数	定員	登録者	延べ利用者数
27年度	10名	13名	1,853	30名	49名	9,454
28年度	10名	13名	1,458	30名	55名	9,067
29年度	10名	10名	1,638	30名	49名	9,374

・通所の状況

	登録者	送迎車	家族の送迎	徒歩・自転車	車・バイク
平成24年度	83名	62名	1名	16名	4名
平成25年度	65名	53名	1名	9名	2名
平成26年度	68名	58名	1名	9名	0名
平成27年度	62名	50名	1名	10名	1名
平成28年度	68名	56名	1名	11名	0名
平成29年度	59名	48名	1名	10名	0名

②職員の業務の見直しを図り効率のよい仕事を心掛ける。

- ・販売方法を工夫し、人が多く集まるイベントに出店するようにした。また、利用者が参加できるイベントに限定し、できる限り多くのイベントに参加した。
- ・職員が早めに計画を立て仕事を行う事で、忙しい作業には職員を多く配置し協力して効率よく仕事を実施する事が出来た。

(5) 就労支援

- ① 個別支援計画に基づき、個々にあった就労支援を目指す。
 - ・就労支援会議を毎月2回実施。
 - ・個別面談を3ヶ月に1回実施。
 - ・随時、ハローワークに行き情報を得た。
- ② 施設外での作業を積極的に取り入れる
 - ・個別面談や会議、また、得た情報をもとに、できるだけ多くの工程を用意し提供。得意・不得意を見極めて、不得意な事にも挑戦していきけるよう支援した。
- ③ 企業実習受け入れ先の開拓
 - ・事業所実習：社会福祉法人聖家族の園
 6月実習(週1日)・7月8月実習(週2日)
 イオンフードサプライ 7/31～8/4・8/7～8/11
 モガワ 7/24～7/28
 - ・障害者事業主委託訓練 社会福祉法人聖家族の園 9/1～11/27
- ④ ハローワーク等と連携を取り企業の求人情報を得る
 - ・駿豆地区障がい者自立支援協議会に参加し、企業、学校、ハローワーク、関係機関、他施設などと情報を交換した。
 - ・事業所見学実施 H29年 11/27 (株)ワークシフト

【就労者】

	人数	就労先
平成19年度	3名	フジ産業(株)・イルカ・(株)東武
平成20年度	7名	東レ(株)三島(3名)・日本ケアクオリティ 裾野市鈴木図書館(2名)・飲食店
平成21年度	1名	(株)ゴトー
平成22年度	5名	エコステーション(3名)・(株)三容工販 (株)ニシカワ
平成23年度	5名	矢崎ビジネスサポート(株)・太平洋クラブ アイサンキュー(3名)
平成24年度	12名	アイサンキュー・田沢医院(2名) (株)バンビの杜(3名)・(株)マリー(2名) (株)ワークフェア(2名)・REWORK 合同会社 ヤマト運輸(株)
平成25年度	3名	(株)マリー・ハートワーム(株) (株)アイエスエフ
平成26年度	3名	東レ(株)三島・ユースエイド・(株)マリー
平成27年度	4名	富士通ハーモニー(株)・ハローワーク三島 (有)清栄・イオンフードサプライ(株)

平成 28 年度	6 名	ロンズ・(社)ユースエイド・リコーエスポアール (株)・福山通運(株)・(有)井出園芸 (株) エクレ
平成 29 年度	4 名	石渡食品有限会社・株式会社モガワ イオンフードサプライ(株) 社会福祉法人聖家族の園
合計	53 名	

(6) 就労者へのアフターケア

就労者への職場定着支援

1～2ヵ月に1回企業を訪問したり、電話で様子を伺ったり、就職した方や企業側の問題点を解決し、離職しないよう長く働けるように支援を行った。

企業名	人数	職種	就労年月日
フジ産業(株) がんセンター内	1名	厨房補助	平成19年4月
東レ(株) 三島工場	4名	清掃作業	平成20年7月 平成26年4月
(株) 日本ケアクオリティ (長泉町老人介護施設)	1名	施設内清掃	平成20年12月
裾野市鈴木図書館	2名	本の配架	平成20年4月
エコステーション	3名	リサイクル	平成22年4月
矢崎ビジネスサポート	1名	施設内清掃	平成23年11月
アイサンキュー	4名	おしぼり洗浄	平成24年1月 他事業所へ1名
田沢医院	1名	病院内清掃	平成24年7月
REWORK 合同会社沼津	1名	PC入力業務	平成24年11月
(株) マリー	1名	食品加工	平成25年10月
(株) アイエスエフネットライフ	1名	PC入力業務	平成25年12月
ユースエイド	1名	軽作業・農業	平成26年11月
富士通ハーモニー(株)	1名	PDF処理	平成27年4月
(有) 清栄	1名	ホテル清掃	平成28年2月
イオンフードサプライ(株)	2名	食品製造加工	平成28年3月 平成29年8月
ル・クラシナ	1名	ケーキ製造	平成28年4月
ロンズ	1名	美容院・補助	平成28年8月
ユースエイド	1名	軽作業	平成28年10月
リコーエスポアール(株)	1名	商品梱包	平成28年11月
福山通運(株)	1名	荷物積み込み	平成28年11月
(有) 井出園芸	1名	花等の生産	平成29年2月
(株) エクレ	1名	建物内清掃	平成29年3月
石渡食品有限会社	1名	食品加工	平成29年5月
株式会社モガワ	1名	リネンクリーニング	平成29年8月
社会福祉法人聖家族の園	1名	介助補助	平成29年12月

2. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

① 浄化槽修理（処理循環エアー配管修理）	89,640 円
② 開網戸 マグネットキャッチネジ	5,355 円
③ リカバリーインストール作業 3台	47,952 円
④ 2階男子トイレ修理	16,200 円
⑤ 連絡通路床板交換工事	191,160 円
⑥ 2階廊下ドア網戸補修工事	61,560 円
⑦ エアコン修理 2台	90,612 円
⑧ 駐車場端部舗装工事（共通）	53,260 円

(2) 物品購入

① プリンター 用紙増設カセット	54,000 円
------------------	----------

○このはな保育園

1. 年間通しての取り組み

(1) 保育の質向上

- ① 平成 30 年度より施行される新たな保育所保育指針と、現状の保育指針との違いや、今回の改定によりどのような保育が要求されるのかを、外部研修や内部研修にて学び、保育課程や年間計画、月案、週案などを見直した。子どもの主体性を引き出しやすいよう、園内環境の整備にも取り組んだ。また、支援の必要と思われる園児については前年度同様、個別に支援計画を作成し、具体的な援助を行った。
- ② 計画と活動が適切であったか、毎週の週案会議、隔週のケース会議、月に一度の職員会議にて確認した。職員会議では、保育上の具体的リスクを想定し、それに対するマネジメントについても検討した。
- ③ 園内に設置したマネジメントカメラを使い、保育の振り返りや園児トラブルの検証を行った。また、父母の会総会などでの保護者向けの話を録画し、園としての考えを全職員で共有するためのツールとした。
- ④ 保育の可視化を進めるため、前年度より開始したドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)の作成頻度を高めた。作成する側も、自らの保育の視点を確認することができ、考察や反省の材料とした。
- ⑤ 28 年 3 月より取り入れた ICT システムにより、園児の登園・降園のチェックを行い、時間帯ごとの園児数を管理することで、園児管理や必要な記録の簡素化に取り組んでいる。

(2) 人材の育成

- ① マニュアルや手順書を継続的に見直し、職員会議にて伝達することで全員の共通理解を深めた
- ② 外部研修へ積極的に参加した。参加して得た知識や情報は、毎月の職員会議で報告した。内容によっては、全員参加型の園内研修として報告の代わりとした。
- ③ 他の園を見学させていただき、自分たちとは違った保育に対する考えや環境と出会った。良いと感じたものは、少しずつ取り入れている。

(3) 地域との連携

①法人内の他施設との交流、近隣の畑を管理する方々などと接する機会をもち、地域に開かれた園作りとともに子どもたちの社会性を伸ばすよう試みた。桃沢幼稚園との交流も3回行った。

②長泉町役場の健康増進課の方や、地域のボランティアの方々を園にお招きし、子ども達に普段とは違った活動を提供していただいた。

(4) 安定した経営

① 光熱水費の無駄を省き、教材、教具、備品を細かく管理した。

② 長泉町役場と連携を取り、4月の園児数に比べ年度末の園児数は4名増加した。

2. 実施した主な行事・活動

4月	1日	入園式
	4日	進級式(在園児のみ)
	15日	第1回父母の会総会・参観会
5月	11日	内科検診(山本整形外科・循環器科 山本先生)
	19日	親子遠足(3歳以上児)
	22日	交通教室(交通安全協会裾野支部 3歳以上児対象)
	24日	さつまいものつるさし・ジャガイモ掘り
	25日	歯科検診(服部歯科医院服部先生)
6月	1日	衣替え
	13日	歯みがき指導(年中・年長)
	14日	桃沢幼稚園交流①(年長)
	16日	第1回オープン参観
	23日	花火指導(3歳以上児)
7月	7日	七夕のつどい
	13日	交通教室(交通安全協会裾野支部 3歳以上児対象)
	29日	このはな夏祭り
8月	5日	長泉わくわくまつり参加(年長・年中)
	14日	休園日
	15~17日	希望保育

9月	1日	防災引渡し訓練（幼海地震想定、一斉メールにて保護者へ連絡）
	5日	保育園説明会
	13日	保育園説明会
10月	8日	このはな運動会
	11日	野歩さんコンサート
	12日	さつまいも掘り
	19日	交通教室(交通安全協会裾野支部 3歳以上児対象)
	26日	桃沢幼稚園交流②(年長)
11月	6日	H30年度入園希望者面接
	16日	内科検診(山本整形外科・循環器科山本先生)
	22日	祖父母参観会
12月	2日	このはな発表会
	15日	クリスマス会
	22日	もちつき大会
	29日～31日	休園日
1月	1日～4日	休園日
	5日	希望保育
2月	2日	節分のつどい
	15日	交通教室(交通安全協会裾野支部 3歳以上児対象)
	23日	桃沢幼稚園交流③(年長)
	28日	修了写真撮影
3月	2日	1日入園
	8日	お別れ遠足(年長)
	10日	第2回父母の会総会
	23日	修了式
	24日	卒園式(20名卒園)
	31日	休園日(次年度準備)

3. 毎月実施した行事

身体測定 誕生会 お弁当の日 避難訓練

4. 園児数推移

	ひかり	ほし	たいよう	にじ	つき	そら	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	8	15	16	24	20	20	103
5月	9	15	16	24	20	20	104
6月	10	15	16	24	20	20	105
7月	11	15	16	24	20	20	106
8月	11	15	15	23	20	20	104
9月	11	15	15	22	20	20	103
10月	11	17	15	23	21	20	107
11月	11	17	15	23	21	20	107
12月	11	17	15	23	21	20	107
1月	11	17	15	23	21	20	107
2月	11	17	15	23	21	20	107
3月	11	17	15	23	21	20	107

5. 保護者(家庭)との連携

- ① 園だよりの発行。(月に1回以上)
- ② クラスだよりの発行。(月に1回以上、必要に応じ随時)
- ③連絡帳でのやりとり
→0.1.2歳児：園での様子などを毎日記入、家庭での様子も毎日把握した。
→3.4.5歳児：必要に応じ記入し、家庭からも同様に使用していただいた。
- ④かんたんメールシステムを利用し、お知らせ、重要事項の確認などを行った。
- ⑤ブログの更新、クラス単位でドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)を掲示した。多いクラスで年間100回以上更新することができた。

5. 延長保育利用実績

- ①18時以降の利用は延長保育とした。
- ②利用料金 18時～18時29分 → 200円
18時30分～19時 → 500円
- ③利用人数は延べ866人。延長料金は年間224,800円であった。

6. 一時預かり事業

(1) 5月最終週より、一時預かり事業を開始した。

(2) 利用料金

		給食有	給食無
未満児	(0～2歳)	2,100円	1,800円
以上児	(3～5歳)	1,500円	1,000円

(3) 利用人数は延べ293人。利用料金は601,800円であった。

7. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
各部屋等工事	120,852	コンセント修理・窓鍵修理ほか
配線関係	12,960	サーバー機器等配線工事
厨房関係	24,840	照明器具修理
車両関係	20,102	点検
その他	750,432	駐車場整備・職員室引戸修理ほか
計	929,186	

(2) 物品購入

固定資産

① アルミステージ 1式 1,152,000円

備品

① トレーワゴン 1台 30,996円

② 高圧洗浄機 1台 31,780円

③ 折りたたみパイプイス 25脚 64,800円

④ 書庫 3台 81,756円

⑤ 洗濯機 1台 42,336円

社会福祉法人静香会平成 29 年度事業報告附属明細書

該当事項ありません